

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線323)
FAX63-5139

おたよりがタヨリ

♥幸田の凧揚げまつりは大変素晴らしい、毎年拝見させていただいてます。大きな凧ばかり目に入ってしまうのですが、自分で作った小さな凧で参加することもできるのでしょうか？

はい、参加できます。毎年、凧揚げまつりでは手作り凧限定の小凧・中凧ゾーン、市販の凧を揚げるフリーゾーンを設定しています。各場所では何十基もの凧が気持ちよさそうに空を飛び交っています。
来年の参加をお待ちしております。

(生涯学習課)



「幸田コールカメリア」

「スーハー、スーハー、スーハー、お腹を引っ込めて、息を吸って、吐いて」コーラスの練習はまず発声から始まります。体をリラックスさせる簡単な体操もします。なかなか出なかった声も繰り返し練習すると美しいハーモニーを造る声となります。今、私たちはふるさとの四季の思い出が深い懐かしいメロディを練習しています。(故郷、春の小川、朧月夜、茶摘、冬景色など)

これからの予定として、愛・地球博に向けて、幸田町のフレンドシップ国として、カンボジア王国のかたが来られます。そのときに

カンボジアでよく歌われている昴、贈る言葉を練習して、音楽を通して心に残る交流ができたらと思っています。皆さんも一緒にコーラスを始めてみませんか!!

音楽家の井上先生がわかりやすく指導して下さいます。昼のコースは毎週金曜日の午前10時から11時30分まで、夜のコースは毎週土曜日の午後7時30分から9時まで、中央公民館の食堂で月3回練習しています。部員一同心よりお待ちしております。

代表者 今井 静子
☎62-5036

この欄に掲載希望のサークルは、はがきにサークル名と連絡先、活動内容を簡潔に書いて企画情報課へ。おってご連絡します。

サークル紹介

この指
とーまれ

86



松山好子さん

みんなの作品展!



はがき

ペンネーム 蘭我明日奈さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

ゆいぽん

「やぐら」

2月。暖冬といわれながらも、冷え込んだ朝のこと……

「ハツ、ハックション」

「なんだん、あんたでも、風邪ひくだのー」

「こーめても、からどはやくいだわ」

「えっ、君でも風邪をひくんだね」

「こー見えても、体は弱いのだ」という意味です。

この「やぐら」は、これにぴったりの標準語はなく、語源もはっきりしませんが、方言として広く使われているようです。普通は、建物などが構造的に弱いことをいい、この地方のように、人の体質に対しては使われないようです。

今年、国際空港、万博と交流の場も増え、とかく名古屋弁と混同されるこの地方の方言が、正しく理解されるよい機会だと思えます。どうか皆さん、やぐら小欄を応援してやってください。

(文・じろぎ)



青春トークリレー

第143走者

からさわ きみひさ
唐沢 公寿さん

岩堀区在住 24歳 会社員
身長 174^{センチ} O型
好きなタイプ 一緒にいて落ち着ける人
好きな芸能人 高島彩

私は、昨年の10月に3年半勤めた会社を辞め、新しい会社に転職しました。転職後は週休2日になり、大好きなサッカーに打ち込める時間が増え、楽しく過ごしています。人生は楽しく生きていきたいですね。

幸田町は自然が多くて本当に過ごしやすく大好きです。たまに名古屋などに行って幸田に戻ると、とても気が落ち着く感じがします。このすばらしい環境をいつまでも維持しながら、発展していただきたいと心より願っています。芝生できれいなサッカー専用グラウンドが幸田にできたらいいな。

来月号は、鈴木 裕子 さんです。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画情報課まで。



毎年、年末になるとシルバー恒例の年末の会員懇親会が行われます。大勢の会員が参加し、にぎやかに宴会が行われますが、1つだけ困ったことがあります。それは、必ずだれかの靴が行方不明になること。宴会が終わって玄關へ来るとそこに残っているのは見たことのない靴、はいてみるとブカブカだったり、新品の靴をはいてきたのに残っているのはボロボロの靴だったり…。これでは、せつか

シルバー会員の懇親会の巻

「こりゃ何だん？」
「これで靴がなくならなくなるだかん？」
いろいろな意見がありましたが、効果は絶大。今回は一足として靴はなくなりませんでした。
しかし、靴の変わりに渡した番号札がなくなってしまう

生きがい
サンターだより
「某月某日」

くの宴会も興ざめです。そこで、今回は一工夫を。洗濯バサミとプラスチックの板と紙を利用して、自作の番号札を作成し受付で渡すことにしました。

「今回は靴を持って帰らなんだで、代わりに番号札を持って帰っただかん？あんなん持って帰ってどうするだん？」



今月号の表紙は成人式。受付時間前に町民会館入り口で新人を待ち伏せして、僕も数年前(?)に成人式に出たんだなあ」と懐かしく思いながらシャッターを切っていました。しかし、男の僕はどうしてもかわいいた性に目がいつしてもかわいいた写真を見てみるとほとんど女性のもの。男性成人の皆さんすみません。今回の教訓を活かし、来年の成人式は男女1人ずつで写真を撮りにいけたらいいですね。僕が女性担当、もう1人が男性担当ならいい写真が撮れるのではないのでしょうか。(D)

風揚げまつりが1月9日に行われました。私も企画情報課も全員で参加し、今回は合併50周年記念ロゴマーク入りの風(約3畳)を、初めて自分たちの手で揚げてみました。当日は絶好の風で、私たちの風も他の風に混じって空高く舞い上がり、気分そう快。取材ばかりではなく参加するのもいいものです。(ないしよ語 実は当日は万博風やカンボジアから贈られた風も会場に持ち込みましたが、風にあおられ、ちよっと…残念。現在は補修済みです。)(M)

ちよと
編集者の
ひらひら